

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目 7 番 5 号） 電話：0725（41）1551
和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

平成 22 年第 1 回定例会は 3 月 1 日開会の予定です



テクノステージ和泉（消防ヘリから撮影）

平成 21 年第 4 回定例会が開催されました

平成 21 年第 4 回定例会が、11 月 30 日から 12 月 11 日までの 12 日間の会期で開催されました。

今定例会では、「公の施設の指定管理者の指定について（小栗の湯）」など、議案 18 件、報告 3 件が上程、また、「人権擁護推進委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて」の諮問 1 件、「平成 20 年度一般会計並びに各特別会計」における決算認定 9 件、議員提出議案として 6 件の意見書など、それぞれ慎重な審議が行われました。

開会初日の議案審議に上程された「平成 21 年度和泉市一般会計補正予算（第 4 号）」では、各議員から多岐にわたる質疑が行われた上、賛成多数で可決されました。

また、12 月 9 日、10 日には、16 人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われ、それぞれ活発な議論が交わされました。

12 月 11 日の最終日議案審議では、平成 20 年度一般会計及び 8 特別会計の決算認定が審議され、そのうち特別会計決算はすべて認定されましたが、「平成 20 年度一般会計決算認定について」は不認定となりました。

また、追加議案のうち「工事請負契約の変更について（上伯太線道路改良工事）」については、各議員から市当局に対して多数の質疑や意見が述べられた上、賛成多数で可決されました。

◆決算審査特別委員会が開催されました◆

一般会計・特別会計決算総額877億2,119万8千円

第3回定例会で上程され継続審査となっていた平成20年度一般会計・各特別会計決算は、11月4日から9日まで決算審査特別委員会が開催され、慎重な審査が行われました。

決算委員会の質問事項 (ここでは質問の一部を掲載しています)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◇公契約条例制定の考え方について ◇補正予算の編成方法及びその不用額の内容等について ◇和泉市だんじり等連絡協議会に係る地域の課題について ◇北部地域公共施設整備事業における今後の取り組みについて ◇職員研修講師謝礼に係る研修内容について ◇生活保護における就労可能者のうち未就労人数及び就労指導について ◇病院健全化計画期間における一般会計等補助金の金額について ◇敬老祝い金支給事業に係る対象人数及び支給方法について ◇和泉市シルバー人材センターに係る補助金の推移について ◇地域福祉総合相談員配置促進事業の目的及び相談内容等について ◇保育園職員の時間外手当の勤務内容について ◇がん検診の受診率向上に向けての啓発及び検診状況について ◇がん検診事業における負担金の不用額について ◇休日急病診療所管理運営事業の現状について | <ul style="list-style-type: none"> ◇泉北環境整備施設組合分担金の過去5年間の推移及び家庭日常ごみの近隣自治体の有料状況について ◇農業関係団体育成補助金の内容等について ◇就職活動フェア合同就職面接会での昨年の求人の状況及び実績について ◇テクノステージにおける企業立地状況及び税収見込み並びに雇用状況について ◇王子グラウンド整備時期及び変更に伴う変更契約の有無、グラウンドの地権者等との交渉経過、今後の上伯太線の対応について ◇伏屋唐国線整備事業における財産購入費の不用額について ◇救急活動事業における搬送患者の容態の判断等について ◇消防協力者等報償費の内容について ◇留守家庭児童会運営事業における工事請負費の内訳及び不用額について ◇学校支援・学校図書館司書ボランティアの実態及び待遇について ◇教育費の減額補正の判断時期及び学校園一般管理事業委託料の流用額と決算額の相違について ◇小中学校における保健体育学校医等の報酬の内容について |
|--|--|

◇平成20年度 決算討論◇

本会議最終日の決算委員長報告における一般会計並びに各特別会計の反対討論を、一部要約して掲載しています。

一般会計決算の討論

◆総務費で人権文化センター事業など、人権行政の見直しは不十分であり、NPO法人ダッシュへの随意契約は一部残っており、支出をやめるべき大阪府人権協会への支出もそのままである。また教育費での青少年センター事業も総務費と同様に、ダッシュへの随意契約が一部残っている。民生費では、共同浴場小栗の湯の指定管理料は赤字補填しない方針を赤字前提の指定管理料に転換をした予算で支出をされている。土木費の上伯太線工事費は王子グラウンドの復旧や松尾寺グラウンド設置での法令違反や不適切な処理が明らかになってきている。また、大阪府財政再建プログラムでの補助金削減への対応で、市事業も未実施で予算不用額が増加した決算となっている。大変な状況で市民のための事業をやめたことは残念な選択であり厳しい状況であったことは分かるが、がんばるべきだったと思う。また大阪府に対する要望を今後も強めることも含め、この点は指摘しておきたい。以上、納得のできない部分がある。

◆上伯太線道路工事であるが、この事業においては公務員の法令遵守、地方自治法に定められた予算契約事項に対し適切でない事務処理が数多く行われていた。まず一点目は王子グラウンドの予算計上を松尾寺グラウンドに流用できるといふ、そのあたりからボタンの掛け違いが始まった。当初の1,500万円が6,000万円に膨れ上がる過程も全く見えてこない。また平成20年度予算が認められていない王子グラウンドに平成20年10月24日、建設業者との契約を行っている。予算の計上をせずに契約をするなど、到底考えられないようなことが現実にはおこっている。次に泉州東部農用地の事業であるが、事業そのものは完成したが、和泉市にとっては完成後15年間、毎年2億円もの負担を負わなければならない。一日に3,721台通ると予測をした農業用道路ではあるが、現実には50台も通っていない状況となっている。国においては事業仕分け等が行われ、農林水産省のこの農道の建設については、多くカットされたところである。

◆一般会計にある上伯太線整備事業は橋梁工事、道路改良工事とも、議会で議決された契約案件であるにも関わらず、橋梁工事においては、契約になかった松尾寺グラウンドの整備工事を、道路改良工事においては王子グラウンドの追加整備工事を、議会への正規の手続きも踏まず工事を先行させ、多額の追加工事を費やすこととなった。過日開催された決算委員会でも、当該整備事業で不適切な事務処理があったことが明らかになった。市長部局では問題解決のため、和泉市法令遵守等対策会議を設置し内部調査結果報告及び今後の取り組みについて考えをまとめ、議員全員協議会や文書で議会に対し示され、具体的関係職員の処分、損害賠償請求の実施、王子グラウンドの市管理化、再発防止のための制度整備、上伯太線道路整備事業対策委員会の設置など、今後の取り組みとしての努力は一定理解できるが、今回の不適切な事務が行われた原因を含め、一連の事務処理についての全容説明は未だ明らかになっておらず、現時点では市民皆さまの理解が得られる状況ではない。

◆国民健康保険事業

制度変更に伴う料金改定や、国指導による賦課限度額が一本化された中、市民負担増となった決算である。

◆公共下水道事業

人口密度の低い市街地調整区域へ下水道を布設するというところで費用対効果の面で疑問がある。社会経済状況の変化がない限り下水道料金値上げをしないのであれば、今後当該区域整備を行えば、下水道会計を圧迫すると思われる。

◆市街地再開発事業

事業そのものは着々と進行されており担当部局は補助金の活用など経費の縮減を図るなど努力は認められるが、後年、和泉市の財政を圧迫する懸念は未だ拭い去れない。

◆和泉診療所事業

年度途中で人件費補償が一定改善されたことはあるが、健康会への委託など全体としてはまだ問題が残っている。

◆後期高齢者医療事業

75歳以上の高齢者を差別し負担を増やし、さらに老人保健制度ではなかった資格証明書も発行できる制度など、直ちに廃止すべきである。

常任委員会審査報告

今回の委員会における質疑・答弁を要約して掲載しています

総務安全委員会

和泉市ふるさと元氣寄附条例及び和泉市ふるさと元氣基金条例の一部を改正する条例制定について

【委員】寄附意欲の高揚という目的で、また使途も選択肢を増やすということの条例改正というところで認識しているが、その中で寄附の推移及び金額はどうか。また、18万市民がおられる中で、今後さらに寄附をしていただけるような努力はされているのか。

【理事者】平成20年度においては、89人の方から530万6千円の寄附をいただいております。今年度の11月24日現在では23人の方から85万8千円の寄附をいただいております。また委員ご指摘のとおり、市民の皆さまに対し寄附意欲の高揚を図るために現在、広報いずみや市のホームページ等を通じPRを行なっている。今後も寄附をしていただけるようさらに努力していきたい。

和泉市再資源化事業推進奨励基金条例の一部を改正する条例制定について

【委員】再資源化事業推進奨励基金についてはどのような積み立て方法なのか、基金の積み立て実績及び現在の累計額を聞きたい。また今までの基金の使用実績及びこの条例改正による基金の使途の拡大の方向性についてはどうか。

【理事者】基金の積み立てについては地域の集団回収活動による有価物の回収量2キロに対し、1円を一般財源から充当、基金の利子の運用収入を合わせて積み立てている。平成20年度の資金の運用収入約56万円、一般会計からの繰入が約357万円、合計約414万円を積立。累計では20年度末で約1億3千万円。使用実績は8年度にリサイクルプラザ建築費用の一部として、20年度に同施設の増築及び太陽光発電設備を設置。今後はごみ減量化に加え、資源及びエネルギーの消費抑制、地球環境負荷の低減、環境保全を図ることを目的としている。

都市環境委員会

厚生文教委員会

公の施設の指定管理者の指定について（小栗の湯）

【委員】小栗の湯の平成21年度の利用状況と決算状況はどうなっているか。また指定管理者の募集に当たっての経緯の確認と選定委員はどのようにして決定をされたのか。また今回の指定管理者では、どういったところを選考基準にされたのか。

【理事者】今年度10月末までの数字では、入浴者数が7万1,864人、前年同月比に比べ、4,086人減少している。また利用料収入は1,714万8,630円で前年同月比99万2,330円のマイナスである。募集経緯については、広報8月号及び本市のホームページにより指定管理者の一般公募を行った。選定委員については選定委員会要綱に基づき選定している。選考基準では、施設運営が住民の平等な利用を確保できること、施設の効用を最大限發揮すること、施設の適正管理するに当たり十分な能力を有していることなど。

一般質問

今定例会では、16人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。ここでは、紙面の都合上、一部要約して掲載しています。

新型インフルエンザワクチンの接種について

原口 裕見議員

【議員】現在、大阪府は11月14日より妊婦、基礎疾患を有する方、小児（1歳～小学3年）を優先対象に接種が行われている。そこで2、3お聞きする。

一、対象者であっても予約すらできない状況があるが今後のワクチンの供給はどうなるのか。一、消費期限があるワクチンを廃棄している病院があると聞くが、病院相互で連携が取れないのか。一、今後ワクチンの効果的な活用も含め集団接種の考え方はないか。一、ワクチンの自己負担額の公費助成の考えは。

【理事者】一、ワクチン供給は3月までに346万回分が順次供給される予定。一、ワクチンを医療機関同士で融通するのは薬事法で禁止されている。一、集団接種は多くの諸問題があるが医師会の協力があれば接種場所の確保等には協力したい。一、公費助成については低所得者対策として府下は一定、統一的な対応をとっており理解願いたい。

「伝統のある和泉市だんじり祭り」について

小野林 治三夫議員

【議員】京都の祇園祭から派生したとされる、古い歴史と伝統のある和泉のだんじり祭り。地域の人々が不況続きの世とはいえ、すばらしい先人から引き継がれているこの伝統行事は守り続けられている。各町会役員のもと、若頭・青年団等、若い人達が中心となり年中会合の場を設け、祭り当日をいかによりよく迎えることが出来るか議論に議論を重ねておられる。そのお陰もあり、年々活況で観客数も増え和泉市にとっても大変素晴らしいことだと思う。しかし交通渋滞・騒音・ゴミ・安全対策等いろいろな問題も生じている。そこで行政として祭りに対しての関わりは、いかが考えておられるのか。

【理事者】アピール担当部局を立ち上げてあり、伝統文化であるだんじりの更なる発展を支援するため、さっそく市全体的な連携を図り、庁内各関係課のネットワーク作りに取り組んでいきたい。

次世代育成支援対策行動計画見直しを通して

大橋 涼子議員

【議員】次世代育成支援対策推進法が成立し、本市でも行動計画が策定された。今年度は見直しの時期となっているが、進捗状況は。

【理事者】昨年度ニーズ調査を行い、まもなく素案が出来上がる。来年1月にはパブリック・コメントを実施し、3月策定予定となっている。

【議員】この5年間の計画達成はどうなっているか。

【理事者】休日保育、一時保育、地域子育て支援センター、エゼンセルハウス事業の目標達成ができなかった。

【議員】達成できなかった理由を単に利用が少なかったからとすることなく、市民ニーズに即した後期計画を策定すべきである。子どもの病气や緊急時、学童保育終了後など居場所を心配している保護者が多い。他部署とも有機的な連携を図ってほしい。また必要な情報を入手できない、すぐにも働きたいといった思いにも配慮していただきたい。

北部地域公共施設整備事業について

柏 富久蔵議員

【議員】北部地域公共施設整備事業（Sゾーン）は平成15年度に用地買収を行った。約18億円も、この本市の財政状況が苦しい時期にも関わらず、何の目的で購入したのか。

【理事者】Sゾーンは将来的に総合スポーツレクリエーション公園を整備するため用地を先行取得したものである。

【議員】本市では長期にわたる景気低迷の影響の中、Sゾーン公共施設整備事業が着手できないが、北部リージョンの整備用地では土地の有効利用を図るため平成16年から用地の一部を暫定広場とし、地元老人会が利用されておられる。Sゾーンにおいても暫定的利用を図り、子ども達が喜ぶスポーツ広場として、当該整備用地の有効利用の考えは。

【理事者】今年度から当該整備用地の自然環境の状況調査を進めており、今後その自然環境調査結果と財政的なものを踏まえ、暫定利用の可能性も含め考えてまいりたい。

HTLV-Ⅰ（ヒトT細胞白血病ウイルス）について

石原 日出子議員

【議員】ヒトT細胞白血病ウイルスは、リンパ球のうちT細胞と呼ばれる細胞に感染・増殖するウイルスでALT（成人T細胞白血病）やHAM（HTLV-Ⅰ関連脊髄症）の原因になっている。感染原因の一つである母子感染を防ぐためにも、妊婦健診の血液検査項目にぜひ、HTLV-Ⅰ検査を必須項目として入れてほしい。

【理事者】妊婦健診の血液検査項目としては、血液型・貧血・C型肝炎抗体検査など9項目あり、HTLV-Ⅰ検査も含まれている。妊婦健診一回あたりの公費負担額には上限があるので、その差額は妊婦の自己負担となっている。

【議員】最初に受ける一回目の血液検査で感染しているかわかるので、ぜひ、HTLV-Ⅰ検査を必須項目に入れていただき、母子感染を予防し新たな感染者を出さないように積極的に取り組んでいただきたい。

契約・工事等に関する民間
ノウハウの活用について

知寛 正勝議員

【議員】 今般の議会でも問題となっている上伯太線の道路・橋梁工事に関することも含め、本市の技術職員体制や職員の経験不足が今回の問題点の根底にあることも一つの要因である。今後5、6年くらいの間にベテランの技術職員が殆ど退職すると考えるが、この際、市内在住の市民の方の中にもゼネコン等でお勤めされていた方もおられ、その方々の長年培ったノウハウを若手職員に伝授していただき、職員の経験不足の解消・スキルアップに努めては如何か。

【理事者】 数年後に現場に精通した技術職員が減少することは認識しており、現在、社会人枠の能力活用も必要と考え、一定の幅を設けて職員採用に努めている。

【議員】 市内在住の経験者を常勤職員として採用するということではなく、色々な方法を模索し、市民の方の経験と能力を活用する方策を検討していただきたい。

市営住宅の家賃滞納について

友田 博文議員

【議員】 市営住宅の家賃滞納による退去処分を裁判所へ起こしたと、専決処分の提案があった。そこで市営住宅の家賃滞納の全体像はどのようになっているのか。家賃の滞納額について計算すれば、約1億7千万円もある。また滞納率は約32%にもものぼる。その上、延滞金も取っていないとのこと。また家賃を6年も7年も徴収せずに市は何をしているのか。行政の怠慢では。今後の滞納の解消に向けての状況を聞きたい。

【理事者】 滞納者を出さないよう督促状の発送、呼び出しや電話による督促、戸別訪問による指導を行いながら、早期の周知や指導等、滞納整理に努めている。今後も、できる限り努力していきたい。

【議員】 努力だけでは滞納はなくならない。保証人もあり裁判も弁護士に頼らず、職員ができることはやっていただき、1年以上の滞納はなくしていただきたい。

事業の進行評価について

岡 博子議員

【議員】 国補助の「建設事業の再評価」制度とは。

【理事者】 継続中の事業について5年・10年経過の時点で継続・見直し・中止の判断をするもの。

【議員】 現行の事業の進行管理や評価は。

【理事者】 各担当課で行ない報告する体制になっている。

【議員】 今回問題となった上伯太線のような事業は、2・3年毎の事業評価がされていればチェックでき、事態を防げたのではないかと考える。外部の視点で評価してもらう機能が必要ではないか。

【理事者】 庁内で自己評価し、それを公表して改善するやり方を続けたい。外部評価については、全庁的認識の高まりの定着を見て研究したい。

【議員】 現に、上伯太線事業は、今年度完成必須にもかかわらず、その評価ではない。やはり外部評価が必要だと考える。是非実施に向け、前向きに検討して欲しい。

効率的な行政サービスについて
(学校給食民営化)

杉本 淳議員

【議員】 過去に学校給食の民営化実施に向けて検討したことがあるのか。

【理事者】 本市では昭和34年から小、中学校すべてにおいて自校調理場直営で実施している。この学校給食は教育の一翼を担っており民間委託を否定はしないが、コスト論だけで判断せず食の安全性や衛生管理等も重要視している。

【議員】 府下の実施状況は。

【理事者】 小学校においては直営が13市、民間委託が20市となっており、近隣では、堺市、泉大津市、高石市、忠岡町、岸和田市がすでに実施している。

【議員】 民営化におけるメリット、デメリットは。

【理事者】 目に見えて直営・民間委託とも変わらないが、給食レベルは維持したいと考えており、子ども達への教育的な効果を損ねないことを前提に、今後、学校給食の運営のあり方を研究・検討してまいりたい。

市長公約の市税・上下水道料10%減の見通しと方向性について

赤阪 和見議員

【議員】 現在、上下水道料金の福祉減免についてホームページでは市外給水世帯は除くところがある。同じ和泉市民でありながら、和泉市から水道を給水・供給できない地域の市民が平等に権利を享受できないとは不公平。また、市内給水地域で泉北環境整備施設組合が管理する鶴山台地域の下水道使用料減免適用の実態は。

【理事者】 和泉市民が他市から水道の供給を受けている世帯は1106世帯あり、市民から見れば当然不公平であると承知。鶴山台地域の下水道使用料減免は、本年7月現在合計285世帯で下水道事業分担当金は全て市税で繰入れ。

【議員】 減免の財源を泉北環境では市民税を投入しているが、助松団地はできない。他市から水道供給を受けているところにも市民税の投入するのが本来の姿ではないか。

【理事者】 行政間の都合で市民にお願いしているが、なるべく速やかに実施していく。

プロジェクトチームの
その後の進捗状況について

小林 昌子議員

【議員】プロジェクトチームの
その後の進捗状況は。

【理事者】平成22年秋の計画策
定に向け、共創和泉行財政懇
話会を立ち上げ鋭意取り組ん
でいる。行財政改革の取り組
みと多額の一般財源を要する
公約の実施については並行し
て検討を進めるとともに、計
画策定までには整合を図り、
一定の方針を示したい。

【議員】懇話会で示した財政見
通しには、公約は入っていないと聞くがその理由は。

【理事者】市長の公約は、対象
範囲や実施手法等によって事
業費が大きく左右され、実施
時期についても今のところ明
確ではなく、財政の見通しの
中には盛り込まなかった。

【議員】事業仕分けを導入する
予定は。

【理事者】事業仕分けについて
は、広く市民が市の事業のあ
り方に目を向ける等のメリッ
トが期待出来る反面、各種の
デメリットも予想され、引き
続き調査、研究を行いたい。

一部負担金減免制度について

矢竹 輝久議員

【議員】一部負担金について国
は新たな減免制度の考え方を
示したが、本市の状況と国の
基準はどうなっている。

【理事者】平成18年10月から要
綱を制定し現在まで3件の申
請を受付けたが、全て不承認
だった。国の基準だが、①医
療機関において入院治療を受
ける被保険者がいる世帯②災
害や事業の休廃止、失業等に
より収入が著しく減少した世
帯③収入が生活保護基準以下、
かつ預貯金が生活保護基準の
3カ月以下の世帯となってい
る。

【議員】国に比べ市の基準はか
なり厳しい。見直すべきだ。

【理事者】国は統一的な基準を
制定する予定で、早ければ23
年度実施と聞いている。本市
においてもこれに従い要綱の
改正が必要となるので、慎重
に対応していく。

【議員】市民への周知方法と併
せて減免基準を改善すべきで、
市の施策として充実していた
きたい。

農業政策について

着本 直幸議員

【議員】農業の後継者不足と農
業収益の低下等が一因となり、
耕作放棄地（遊休農地）が多
く見受けられる。農作業が未
経験でも耕作等を希望する方
のいることから、新たな視点
に立った農業展開が求められ
ているが、市としてどのよう
な取り組みを考えているのか。

【理事者】平成二十一年六月に
改正農地法が公布され、貸借
規制の緩和により会社・NP
O等が参画しやすくなるなど
農地の利用拡大が図られたこ
とから、農業に興味を持つ都
市住民等による耕作放棄地の
再生・利用の方法についても
研究するとともに、関係機関
と連携し遊休農地の解消に向
けた取り組みを進めたい。

【議員】今後は、市の施策展開
等、積極的な取り組みを期待
するが、農業政策を進める上
では、農業委員会やJAいず
みの農業協同組合とも連携を
図り、情報を共有しながら施
策の推進を要望する。

市立病院の緩和ケア病棟
開設について

早乙女 実議員

【議員】「緩和ケア病棟」計画
での改修費は二億六千万円と
のこと。「経営健全化実施計画」
見直しは必要か。「独立採算」
発言の意味は。設置基準や病
棟開設への課題は。

【理事者】緩和ケア等の実施で
収支計画が変化し、経営改善
の基本方針に影響する場合は
見直す余地があるが現時点で
は必要ない。独立採算は緩和
ケアを含む腫瘍内科領域だけ
でも二年目以降黒字収支にな
る見込みの意味。国基準は9
項目程だが本院関係は①主と
して悪性腫瘍患者等に病棟単
位で実施②病棟に担当医師一
名以上配置③病棟面積は患者
一名に30㎡以上、病室床面積
は患者一名に8㎡以上④患者
家族控室、患者専用台所等を
備える。現在病棟仕様の検討
段階だが、既存病棟改修のた
め一定制限あり。費用捻出、
市の支援、予算計上、議決を
得て四月より工事ができる。

【議員】人員配置問題など関係
者と充分協議すること。

学校給食について

藤田 充議員

【議員】和泉市農業振興会は学
校給食の食材を安心・安全と
地産地消をテーマに提供され
ているが、今後の運営方法と
学校給食との関わりはどうか。
また現下の経済情勢はデフレ
スパイラル。賃金下がりが、
物価も下降気味である。地産
地消を拡大し、直売方式によ
り、安全・安心を担保に給食
食材利用を図り、ひいては給
食費の減額につながる施策が
必要と考えるが。

【理事者】農林課、教育委員会
との連携を強化し、より良い
食材の安定供給に努める一方、
農業振興会の体制の充実を図
るとともに、市としても引き
続き支援を行う。給食費は
二十年度において十年ぶりに
月額200円の値上げを行った
結果、使用食材も広がり、デ
ザートも献立に入った。現下
の厳しい経済情勢ではあるが、
基本はやはり保護者負担をで
きるだけ軽減し、安価でおい
しい給食を提供できるように、
今後とも精査していく。

消費生活センターの設置について

金児 和子議員

【議員】7月議会で、消費生活相談室のセンター化や地方消費者行政活性化基金の使途について質問し積極的改善をするとの答弁を得たが、その後の具体的な進捗状況は。

【理事者】平成22年度を目途にセンター設置や相談時間の延長、相談員複数配置、啓発用ステッカー全戸配布等を現在関係各課と協議している。

【議員】残念な事に消費生活センターの位置が決まらない。悪徳商法や多重債務等の相談を受ける重要な施設である。本市では年間46人位の自殺者がある。市民の命と財産を守るため市民に分かりやすく利用しやすい場所にすべき。

【理事者】近年、高齢者や障害者等社会的弱者の消費者被害も増加し深刻な社会問題となる中、センター設置は喫緊の重要課題の1つと認識している。最適な場所を庁内に確保するよう努めていきたい。

【議員】行政の都合でなく市民の目線での施策を要望する。

◆意見書

今定例会では6件の意見書が可決され、各関係省庁に送付されました。

- ◆トンネルじん肺根絶の抜本的な対策に関する意見書
- ◆女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書
- ◆さらなる緊急雇用対策の実施を求める意見書
- ◆エコポイント制度並びにエコカー補助金の継続実施を求める意見書
- ◆子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書
- ◆食の安全・安心と食料自給率向上政策を求める意見書

◆人事案件

今定例会では、人権擁護委員として市長から次の方の推薦があり、議会として同意しました。

よ でん かずひさ
余田 和久氏（光明台）



一般質問におけるその他質問項目（抜粋）

- ◇保育所における看護職配置の推進について
- ◇北部コミュニティセンターの利用について
- ◇自治基本条例について
- ◇市立病院の経営改善について
- ◇自転車の安全対策について
- ◇槇尾中学校のバックネットについて
- ◇長期病欠勤務職員の現況について
- ◇いずみ箱（目安箱）について
- ◇市道並びに公共施設管理について
- ◇いちごハウスの適法化について
- ◇まちづくり交付金について
- ◇防災対策について
- ◇職員研修について
- ◇農業振興会について
- ◇新たな市民文化活動支援事業について

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について 平成21年度和泉市一般会計補正予算（第4号）	——	可決 （全会一致）
●公の施設の指定管理者の指定について（小栗の湯）	厚生文教 常任委員会	可決 （賛成多数）
●泉北地域広域行政推進協議会の廃止に関する協議について	総務安全 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市再資源化事業推進奨励基金条例の一部を改正する条例制定について	都市環境 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市ふるさと元気基金条例及び和泉市ふるさと元気基金条例の一部を改正する条例制定について	総務安全 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	都市環境 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	総務安全 常任委員会	可決 （全会一致）
●和解について（小学校新設工事に伴う家屋損傷に対する損失補償）	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
●平成20年度和泉市一般会計決算認定について	決算審査 特別委員会	不認定 （賛成なし）
●平成20年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （賛成多数）
●平成20年度和泉市老人保健事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （全会一致）
●平成20年度和泉市公共下水道事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （賛成多数）
●平成20年度和泉市市街地再開発事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （賛成多数）
●平成20年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （全会一致）
●平成20年度和泉市和泉診療所事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （賛成多数）
●平成20年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	決算審査 特別委員会	認定 （賛成多数）
●工事請負契約の変更について （上伯太線道路改良工事）	——	可決 （賛成多数）

その他、議案8件、報告4件、監査報告9件、諮問1件、意見書6件がそれぞれ可決等されました。



◆研修会に参加しました◆

大阪府市議会議長会の主催による第 49 回大阪府市議会議長会議員研修会が開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

日程：平成 21 年 11 月 20 日 (金)

場所：ホテル阪急エキスポパーク

講演：「議会の力で自治体が変わる」

講師：慶応義塾大学法学部教授

片山 善博氏

ご意見ご感想をお寄せください

読みやすく親しみやすい「市議会だより」の紙面づくりのために、皆さまのご意見をお寄せください。

〒 594-8501

和泉市府中町二丁目 7 番 5 号

和泉市役所 議会事務局

電話：0725-41-1551 (内線 1723・1724)

FAX：0725-43-4525

* 第 1 回定例会の予定 *

平成 22 年第 1 回定例会は、次の日程で開催される予定です。なお、議事の都合により日程や開会時間が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問合せください。

電話：0725-41-1551 (内線 1722・1725)

日 程	会 議	場 所	開会時間
2月 22日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後 1時
3月 1日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
3月 2日(火)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 3日(水)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 4日(木)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 9日(火) ~15日(月)	予算審査特別委員会	委員会室	午前10時
3月 17日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後 1時
3月 23日(火)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月 24日(水)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月 25日(木)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時



傍聴のご案内

■本会議■

場所：議場 (1 号館 4 階)

(入口は 1 号館 3 階税務室資産税横)

定員：議場 40 席

(車いすスペース 3 台分)

■委員会■

場所：委員会室 (3 号館 3 階)

定員：委員会室 7 名 (音声傍聴 10 席)



市議会では、市民のみなさまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくため、本会議や委員会を傍聴してみませんか。議場と委員会室の受付で備え付けています傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで、どなたでも簡単にできます。いずれも、開会予定時刻の 15 分前から到着順に入室できます。また、市議会へのアンケート調査につきましても、引き続き行っておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

市議会ホームページを開設しています

市議会の内容をよりわかりやすく早くお伝えするため、市議会のホームページを開設し、情報の提供を行っています。市議会の最新のデータや議会制度などをご紹介します。市議会の流れなどについても、わかりやすく説明しております。また、各定例会ごとに会議での内容を記録した「会議録」を作成しています。

この会議録につきましては、市議会事務局や市政情報コーナー、和泉市立図書館などで自由に閲覧することができます。また、同じ内容を市議会のホームページでもご覧いただくことができます。

議会映像インターネット配信

市議会では、市民の皆さまに議会を身近に感じていただくため、平成 21 年第 3 回定例会より本会議映像のインターネット配信を始めました。配信方法は、本会議をそのままお伝えする「ライブ配信 (生中継)」と 24 時間いつでも視聴できる「録画配信」がございます。市議会のホームページのトップ画面にある「議会中継」のボタンをクリックするだけです。気軽に議会を視聴できますので、皆さまからのアクセスをお待ちしています。



平成 21 年第 4 回定例会の傍聴者数

(本会議／傍聴者のべ人数)

11 月 30 日～12 月 11 日 (本会議 4 日間) 計 34 人

(委員会／傍聴者のべ人数)

12 月 1 日～3 日 (3 委員会)

計 3 人